

建築物に係るエネルギーの使用の合理化の一層の促進のために誘導すべき基準  
一次エネルギー消費量計算結果(住宅)

1. 住宅/住宅(タイプ)の設計一次エネルギー消費量等

(1)住宅/住戸(タイプ)の名称(建て方)	〇〇様邸新築工事(戸建住宅)			
(2)床面積	主たる居室 63.28㎡	その他の居室 49.69㎡	非居室 31.95㎡	計 144.92㎡
(3)地域の区分/年間日射地域区分	6地域		A4区分(年間の日射量が多い地域)	
(4)一次エネルギー消費量(1戸当り)			設計一次エネルギー[MJ]	基準一次エネルギー[MJ]
			27006	24852
			8508	11270
			2644	5361
			19350	25091
			8503	17125
			21241	21241
			-25573	--
			61679	104940
(5)参考値 *一次エネルギー換算の値	発電量(コージェネレーション)		0	--
	発電量(太陽光発電)		146724	--
	売電量		121152	--
(6)判定	一次エネルギー消費量[GJ/(戸・年)]		61.7	96.6
	結果		達成	
(7)BEI	一次エネルギー消費量(その他除く)[GJ/(戸・年)]		40.5	83.7
	BEI		0.49	

本計算結果は、当該住宅が建設される地域区分及び設計内容に、一定の生活スケジュールに基づく設備機器の運転条件等を想定し計算されたもので、実際の運用に伴うエネルギー消費量とは異なります。

2. 当該特定住宅(住宅タイプ)の仕様

(1) 暖冷房仕様

外皮/設備項目	外皮/設備の仕様	
A. 外皮	評価方法	当該住宅の外皮面積の合計を用いて評価する
	総合皮面積	349.62 m <sup>2</sup>
	UA値	0.58 W/m <sup>2</sup> K
	日射熱取得率	暖房期 η AH: 1.3 冷房期 η AC: 1.4
	通風の利用	主居室: 通風を利用しない その他の居室: 通風を利用しない
	蓄熱の利用	蓄熱を利用しない
	床下換気システムの利用	床下換気システムを利用しない
B. 暖房設備	運転方式	居室のみを暖房する
	設備仕様	【主たる居室】ルームエアコンディショナー 特に省エネルギー対策をしていない 【その他の居室】ルームエアコンディショナー 特に省エネルギー対策をしていない
C. 冷房設備	運転方式	居室のみを冷房する
	設備仕様	【主たる居室】ルームエアコンディショナー 特に省エネルギー対策をしていない 【その他の居室】ルームエアコンディショナー 特に省エネルギー対策をしていない

## (2) 換気仕様

設備項目	設備の仕様
D.換気	壁付け式第二種換気設備または壁付け式第三種換気設備 比消費電力:0.13 W/(m <sup>3</sup> /h) 換気回数:0.5回/h
E.熱交換	熱交換型換気を採用しない

## (3) 給湯仕様

設備項目	設備の仕様
F.給湯設備	給湯設備・浴室等の有無
	給湯設備がある(浴室等がある)
	熱源機
	ガス潜熱回収型給湯機(エネルギー消費効率: 94.3%) ふろ給湯機(追焚あり)
	配管
	ヘッダー方式(ヘッダー分岐後のすべての配管径が13A以下)
	水栓
	台所: 2バルブ水栓以外のその他の水栓(水優先吐水) 浴室シャワー: 2バルブ水栓以外のその他の水栓(手元止水) 洗面: 2バルブ水栓以外のその他の水栓(節湯方式を採用しない)
	浴槽
	高断熱浴槽を採用しない
G.太陽給湯	採用しない

## (4) 照明仕様

設備項目	設備の仕様
H.照明設備	主たる居室
	すべての機器においてLEDを使用している 多灯分散照明方式の採用:採用しない 調光が可能な制御:採用する
	その他の居室
	設置しない
	非居室
	すべての機器においてLEDを使用している 人感センサー:採用する

## (5) 発電仕様

設備項目	設備の仕様
I.太陽光発電設備	パネル面数
	1面
	その1
	システム容量:13.5kW 種類:結晶シリコン系 設置方式:屋根置き形 パネル傾斜:30度 パネル方位:真南から東および西へ15度未満
	その2
	*****
	その3
	*****
	その4
	*****
	パワコン
	定格負荷効率:—
J.コージェネレーションシステム	なし

